

かみくげ 恐竜の里新聞

平成25年 1月20日

発行…上久下恐竜の里づくり協議会

第52号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

25年飛躍の年に！

新しい年を迎えて

自治協議会会長

柳川瀬 義輝

自治会長 会長

中西 邦雄

「安全・安心の地域づくり」「活力ある地域づくり」を今年の上久下地域の目標に据えて取り組みたいと思います。今年3月末には「上久下森の診療所」が開業され、長年の懸案でありました無医地区の解消が実現します。また、超高齢化社会の中にあつて介護施設「山南古代の里」が4月1日に開業し、地域の福祉の拠点としてその一役を担うことになりました。このような施設ができたら安全・安心ということだけでなく、地域の一人ひとりが健康の維持増進につとめられ、それを補完する施設でなければなりません。「丹波竜の里計画」も今年から設計の段階から事業実施に、また「元気な地域づくり特別事業」も今年から本格的に事業が開始されます。これらのことを考えると25年度は上久下地域にとって追い風の年になりそうです。地域の皆さんと一緒に元気に上久下地域づくりのために努めたいと思います。

新年おめでとうございます。旧年中は自治会活動に多大なるご理解、ご協力いただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。昨年は市長をお招きしての「丹（ま）こころ 夢トーク」を上久下で開催、また県民局との話し合いなどを通じて上久下地区の活性化、交通安全対策などの要望活動を行ってまいりました。今年は地域づくりセンターを挟んで4月には介護施設、医療施設が開業するなど地域発展にとって明るい話題もあります。元氣村周辺の再開発、県道南バイパス、山南・篠山線の早期実現、山南地域中学校の統合問題など多くの課題が山積しています。厳しい状況下ではありますが、山梨県白州町でNPO法人を運営されている曾根原久司さんのモットー「日本の田舎は宝の山」という言葉に自信を持ち上久下地域全員の知恵と行動で明るく元気に上久下ができればいいなと考えております。今年もよろしく願っています。

新春賀詞交歓会開かれる

丹波竜太鼓初披露



上久下自治協議会は1月12日、地域づくりセンター多目的ルームに協議会各団体、グループ代表と丹波市から辻市長、県立人と自然の博物館から三枝春生主任研究員らを招いて恒例の新春賀詞交歓会を開きました。筆演奏、新春の舞、コーラスグループによるオープニングで幕を開け、辻丹波市長の新春にあたって市政3期目の抱負や上久下地区へのまちづくり支援と期待などについての話に50余名の参加者は耳を傾けていました。

新しい催しとしては、24年末に完成



した手づくり太鼓「丹波竜太鼓」の初披露があり、丹波竜物語（六楽章で構成）の2楽章が演奏され、完成度の低い演奏にも拍手喝采を受けていました（写真）。24年3～4月からオープン予定の「上久下の森診療所」と「山南古代の里」の安井不二男院長、上山一雄理事長らも初めて参加し、地域住民との初交流を通じて今後の地域医療や福祉・介護への思いを話していました。宴席半ばではコーラスグループの指導により参加者全員が舞台や会場内で懐かしの歌の数々を合唱し、親睦をはかりました。初めて参加した市の職員は「上久下のまとまりとパワーには他の地域にないすごさを感じました。これからの発展が楽しみです」と感想を述べていました。

自治会だより

しめ縄講習会

(太田自治会)



昨年12月8日に太田公民館で「しめ縄講習会」(相生会主催)が開催され、多くの老若男女が参加しました。しめ縄など正月商品は今ではスーパーなどで手軽に入手することができますが、その反面、田舎に伝わる伝統文化が失われつつあると感じています。初めは藁の扱いに苦戦していた参加者も講師の手助けを得て1時間もするとそれぞれに個性的な作品ができあがりました。店頭で購入した画一的な製品もいいですが、少々形は不ぞろいでも自作の手づくり感のあるしめ縄は、お正月を迎える新たな気持ちを持ちをより引き締めてくれます。今後とも、このような伝統文化は長く継承していきたいものです。(太田 K.N)

元旦歩こう会

(青田自治会)

青田自治会(北尾悟会長)は元旦の年次行事として10年以上前から続いている自治会内歩こう会を行いました。この催しは、青田自治会会員同士が元旦の朝にお互い顔を合わせて新年の挨拶を交わそうと始められたもので、今年の元旦の朝は宮(大歳神社)や寺(微妙寺)の公的行事の終了後に、自治会員と帰省中の家族、つれら130人が集まり、「座禅石」公園と大歳神社間を思いおもいに歩き、神社境内での抽選会を楽しみました。抽選会ではデジタルカメラや日用品などが参加者全員に当たり、今年一年の健康と繁栄を祈念しました。



新成人が大人の門出

上久下で対象者は13人

丹波市の成人式が1月13日、柏原住民センターで行われました。今年の参加者692人のうち、地元上久下からは男子7人、女子3人が大人としての自覚の決意を新たに式典に参加しました(3人は欠席)。式典に参加した専門学校生の大野彩さん(上滝)は

「春から社会人になりますが、大人としてこれまで以上に自分の行動に責任を持ち、仕事もプライベートも日々成長できるように頑張りたいです」と、また会社員の前田直樹さん(畑内)は

「20歳になり人としての責任感を持つて人間になって社会人としての自覚を持ちたいと思います」とそれぞれ成人になった感想を述べていました。地域としても上久下っ子の新しい門出を祝福したいと思います。



地域づくりセンターからお知らせ

健康講座

3月末開業予定の上久下の森診療所の安井院長が2月22日、午後7時30分から地域づくりセンターで健康講座を開きます。この講座は複数回数を予定しており、地域の皆さんの健康管理などをテーマに話してもらいます。多くの皆さんに参加してもらい自分の健康管理について今一度見つめ直す機会にしてください。

2月の予定

- ◆ 2月15日(金) 里づくり協議会 午後7時30分
- ◆ 2月17日(日) 第12回ふれあい映画会 午後7時
- ◆ 2月19日(火) 老壮会 健康講座 午後1時30分
- ◆ 2月21日(木) 自治会長会 午後7時30分
- ◆ 2月22日(金) 上久下の森診療所 安井医師 講演会 午後7時30分